

CHEER

2013
No.26

[KGU 同窓会コミュニケーション誌] 京都学園大学同窓会

チアー [cheer] 応援すること・喝采すること・激励すること・元気がよいこと・気分のよいこと・おいしいこと



それぞれの卒業後を追う
メガネのとらや g-room オーナー 豊福 祥人
地元で頑張っています!
トロッコ列車初の女性運転士 荘 真弓
卒業生リレーエッセイ
中田 正敏 / 壺井 則行 / 水 悠香

特別企画
京都学園大学同窓会40年の歩み

同窓会支部レポート
四国支部 / 中国支部 / 関東支部 / 北陸支部
九州支部 / 東海支部 / 滋賀県支部 / バイオ環境学部支部

石原祐次大学事務局長に聞く
京都市内に新キャンパス開設

大学トピックス
野球場をリニューアル / キャンパス内にヤギ牧場を開設
続報ニホンミツバチプロジェクト
京學堂が蜂蜜入り「花麴どらやき」新発売 / 退職のお知らせ
2014年度入試情報

クラブ活動リポート
世界選手権・全日本選手権出場情報
能楽部 / アーチェリー部 / ソフトボール部 / 剣道部

同窓会の広場
卒業生による連続講演会
アメリカンフットボール部創部40周年 / 事業・決算報告
龍尾祭 & ホームカミングデー
同窓会40周年記念式典のお知らせ

もてなしの心でお客様をゲストルームにお迎えし、 目にも心にもフィットするメガネを提供しています。

九州新幹線の開通で九州がぐんと近くなり、京都から3時間あまりで久留米に着くようになった。今回はその久留米市内で、「メガネのとらやg・room」を経営しておられる1期生の豊福祥人さんの店舗を訪問し、g・roomIIゲストルームで、開学当時の大学の様子や独自の経営哲学などを語っていただいた。

豊福祥人

TOYOHUKU
YOSHITO

**開学当時は教授も含めみんなが仲間
お互いに力を合わせて大学づくり**

福岡県久留米市で生まれ、同地で眼鏡店を開業されている豊福さんだが、意外に関西とは縁が深い。父親の仕事の関係で小学3年生の時に大阪府高槻市へ、さらに京都の向日町(当時)に居を移し、後には平安高校に進んでいる。折しも東大の安田講堂に象徴される全共闘の全盛時代。荒れまくる大学への進学に頭を悩ませていた時、亀岡に新しい大学ができるとの情報を得て、京都学園大学への入学を決めた。「入学はしたものの、本当に何もなかったですね。忘れられないのは初めての体育の授業でした。学生課の向こうに集まるといので行ったら、そのままぞろぞろ歩きたすんです。先生が、この丹波栗は登って採ってはダメ、この上ではマツタケが採れるがマムシがでるから立ち入るな、といった調子で敷地内を案内して回り、一周して終わりなんです。もともと、今のよう立派な体育館もなかったですからね」

「学園祭も最初の頃はさびしいものでした。人数が少ないので盛り上がりません。



めてもの景気づけにと、キャンプファイヤーで裸踊りをして騒いだものです。そのかわりほとんどの人が顔見知りでした。ある時、素知らぬ顔で通り過ぎる人がいたので、『おい、あいさつぐらいしろよ』と声をかけ、その後でグラウンドに行ったらその人が出席を取っている。『あ、先生だったんですか』なんてこともありましたね。先生方とも強い仲間意識で結ばれていました。私が初めて藤井大丸でアルバイトをした時には、米田先生がわざわざ様子を見に来てくださって、あの時は恐縮しました」

レポートの提出日に間に合わず、研究室で教授の指導を受けながら何とか仕上げたこと。自治会をつくろうと毎日のように熱く語り合い、立ち上げに向けて奔走したこと。洋服店でアルバイトをしてオシャレに目覚め、初めて当時流行のパンタロンを履いたことなど、学生時代の思い出話が次々と口をついて出る。下宿生活をしながら通った京都学園大学での4年間は、まさに青春そのものであった。

**一時は市内に3店舗を展開するも
50歳を前にして経営方針を転換**

卒業後は京都で就職し、サラリーマンになるうと決めていた。しかし、ひよんなことから久留米で叔父が経営していた「とらや眼鏡店」を継ぐことになり、まず大阪・梅田の眼鏡店で働きながら、眼鏡の専門学校に通って眼鏡士の資格を取得した。

久留米へ帰ったのは24歳の時である。当初は「地域一番店を目指す。やがては久留米一、九州一、いや日本一の眼鏡店になる」と意気盛んで、一時は3店舗を展開するまでに業績を伸ばした。しかし、テナント出店した大手量販店で、否応なしに値引き競争に巻き込まれることになる。「度重なる値引きセールの要求で、ついには3割引きが定価のようになってしまっている。これでは良いメガネが販売できない

豊福 祥人

株式会社とらや眼鏡店 代表取締役

Profile 昭和48年経済学部経営学科卒業、福岡県久留米市出身。京都学園大学の1期生として学生自治会の組織づくりなどに尽力。大学卒業後、眼鏡店に勤務しながら眼鏡技術の専門学校に通い眼鏡士資格を取得。帰郷して叔父が経営していた眼鏡店を継承。一時は3店舗を運営したこともあるが、現在は人間関係・信頼関係を大切に、堅実経営に徹している。

メガネのとらや g・room

福岡県久留米市西町200-1
TEL 0942-21-9220
営業時間 10:00~18:30(木曜定休)
URL <http://www.g-room.jp/>



いし、経営そのものも成り立たない。一時は店をたたむことも考えました」

それを思いとどまらせてくれたのが、顧客や取引先のサポートであったという。

「東京ではこんな店がはやっていて、こういう傾向のメガネを扱ったらどうか、などと親身にアドバイスしてくださるお客様がいらつしやる。全国各地で健闘している同業の店を紹介してくれる取引先の社員がいる。そういう人たちに元気をもらい、もう一度頑張ってみることにしました」

50歳を前にして、豊福さんの商売に対する考え方は一変した。「商品を売るよりも、まず顧客との信頼関係を重視し、もてなしの心でゲストを迎える」というコンセプトである。こうして店は1店舗に集約され、ホスピタリティに満ちた心地よい空間、g・room II ゲストルームが誕生した。

**一流ブランドを手にする喜びを
味わえる満足感・幸せ感を提供**

その名も「メガネのとらや g・room」に改め、店奥にゲストルームをしつらえた店内には、シヨップ契約の商品が陳列されている。デザイン性やカラーはもろろん、機能性にこだわった品揃えに自信をもっているという。

「国内だけでなくフランス、ドイツ、アメリカなど海外ブランドもありますが、フレームのデザインだけでなく商品開発コンセプトをも重視しています」と語る豊福さんは、買った人に心から満足してもらえ、陽性の商品を提供することにこだわ

**あこがれの高級ブランド品を手にする喜びや幸せ感!
そんな顧客の満足感を、
ファッション性と視力追求を両立したメガネで実現。**



ている。一流のブランド品を手に入れた時の喜びや幸せ感は格別のものがあり、そこには実用のためだけに求める「陰性」の商品とは、明らかに違いがあるというわけだ。

オシャレに目覚めた人たちにとって、今やメガネは視力矯正のためだけの実用品ではなく、ファッションアイテムとしての意識が高まっている。そういう目の肥えた人たちには、自信をもつて集めたコレクションの中から、お気に入りのアイテムを選んでもらうのが狙いである。

「ファッションナルで、常に適正な視力矯正ができるメガネを着用していただくため、お客さまには年に2回は当店へお里帰りしていただきたいと願っています」

**和気あいあいとした支部活動を展開
今年の記念式典 龍尾祭には夫婦で参加予定**

「今年の40周年記念式典や龍尾祭には、

家内と緒に参加したいと思っています。母校がどのように立派になっているかを見るのは、楽しみです」と語る豊福さんは、同窓会九州支部発足時の支部長である。今は平嶋智晃支部長にバトンタッチしているが、同窓会への思い入れはなかなか深いものがある。

「最初、同窓会本部の当時の浅野眞実会長(当時)から、福岡支部を立ち上げてくれないかと言われたんです。でも、まだまだ店の経営に専念したいと思っていた時期だったので、断わるつもりで九州支部ならやってもいいと口をすべらしたのが運のつきでね、とうとう引き受けるはめになりました」

「家族ぐるみの付き合いを広げていって、若い人も気軽に参加できる和気あいあいとした支部になればいいですね」



莊 MAYUMI 真弓 SHO

Profile 平成12年経済学部経済学科卒業。
 大学在学中は陸上部の数少ない女子部員として活躍。
 卒業後はプライダル会社に1年間勤務。その後、嵯峨野
 観光鉄道株式会社にパートとして勤務し、1年後に正社員
 として採用される。昨年由国家試験に合格し7月から女性
 初の運転士となる。

長年の熱意が実って初の女性運転士に。 夢を乗せたトロッコ列車で「出発進行！」

保津峡が織りなす四季折々の渓谷美を観光客に満喫してもらう優美なトロッコ列車が、嵯峨—亀岡間を平均時速25kmのスピードで約25分かけてのんびりと走っている。そのディーゼル機関車を運行する、全国的にも珍しい女性運転士が話題になっている。熱意を社長にアピールし、長年の夢をついに実現させた莊真弓さんを嵯峨駅に訪ねた。

「運転士になりたい」という
 熱い思いを社長に直接アピール

高校で陸上の中距離競技の選手だった莊さんは、大学でも陸上部に入部し、夜遅くまで部活に打ち込む日々を過ごした。女子部員が少なかったため、「関西学生大学女子駅伝や亀岡駅伝に出場したくて、短距離選手やマネージャーを寄せ集め、な

んとかチームを編成して参加しました」と語るように、彼女は何事にも前向きに取り組むチャレンジャーだ。

当初目指していた警察官にはなれなかったものの、パートとして入った嵯峨野観光鉄道では、持ち前の積極的な仕事ぶり1年後には正社員の座をつかみ取った。大きな転機を迎えたのは6年前、静岡方面へ旅した時のことである。大井川鐵道の女性車掌がイキイキとパワフルに、本当に楽しそうに乗務しているのを見て「運転士になりたい」との思いを強くした。思うだけでなく、その思いを社長に直接伝えたのが莊さんらしい。やがて、その熱い思いが現実になる日がやってきた。

「車掌もやりたい」という
 新たな目標の実現を目指す

「運転士にならんか」と社長に声をかけられた。「うれしいというより、心臓が躍り上がった」という莊さんは、社内で運転士を養成する最初のケースともなった。

一昨年冬12月、先輩たちの指導を受けながら、国家資格取得に向けた勉強を開始した。そして昨年3月、まず筆記試験をクリアし、6月の実技試験も見事に突



破、夢にまで見た運転士の資格を手にしたのである。

「小さな会社ですから、窓口業務も事務処理も、時にはペンキ塗りもやりますが、乗務する日は1日4往復しています。安全運転とともに、いつも心がけているのがお客様に精一杯楽しんでいただくこと。景色のいい所ではスピードを落としたり一時停車したり、いつもお客様の気持ちになってサービスに努めています」

「次の目標は車掌業務にもチャレンジすること。お客様に沿線の景観をガイドするのが大切な役割ですが、関西らしいお笑いの要素も交えながら、大いに楽しんでいただきたいと思います。これも女性初の試みなので、ぜひ実現させたいですね」

「嵯峨野観光鉄道の線路は、ご存知のように旧山陰本線の一部でした。同窓会設立40周年記念式典に訪れる際は、トロッコ列車に乗ってなつかしい通学路の風景を楽しんでいただけたら嬉しいです」



トロッコ嵯峨駅の「グリーンオアシス」内に、本格的な鉄道ジオラマを設置

嵯峨野観光鉄道株式会社
 TEL 075-871-3997
 FAX 075-864-2899
 URL <http://www.sagano-kanko.co.jp>

卒業生リレーエッセイ

青春時代の真ただ中を過ごした大学での日々、その一コマ一コマが今も鮮明に思い出されます。なかでも、ともに学びクラブ活動に打ち込んだ仲間との思い出は、忘れがたいものがあります。今回も前号からバトンを受け継いだ3名の方に、大学時代の思い出や卒業後の歩み、現況などを綴ったエッセイを寄せていただきました。

中田 正敏

平成4年経済学部
経済学科卒業

現在、農業法人・JA やゴルフ場などを対象とする、肥料や改良剤の製造・販売会社を運営しています。取引先との関係もあり、折にふれて趣味のゴルフを楽しんでいます。スコアは80～90台を行ったり来たりで、数多くプレーしているわりにはうまくなりません。

大学ではサッカーサークルに入り、先輩や同級生とよく飲みに行きました。当時は車で通学していたため、毎日2時間弱の運転が大変でした。特に冬の雪が積もる日は幾度となく怖い思いをしたものです。

最近は富田氏や中嶋氏とたまに食事をしていますが、卒業以来会っていない友人もたくさんいます。一度、当時の事を肴にゆっくりと酒を酌み交わしたいですね!



ぜんカントリークラブで行われた取引会社のコンペの写真です。当日のスコアは83でした。

壺井 則行

平成10年法学部
法学科卒業

在学中はESS、ISA に所属していました。当時の仲間とはFacebook やLINE で交流しているほか、数ヶ月に一回程度会っています。昨年9月に病院の検査でクローン病と診断され、2ヵ月程度入院しましたが、その時にはお見舞いやメールでたくさんの方々から励ましていただきました。

20代は趣味程度に写真を撮っていましたが、30歳過ぎに京都光画道場に在籍するようになり、写真というツールで表現するということを日々模索しています。その結果、今年の二科展に初応募で初入選することができました。

写真に関する活動などをTwitter にアップしています。よかったらフォローしてください。そして写真も見に来てください。⇒ @Tsuboi Noriyuki



2ヵ月入院した時に撮りためた中から組写真を組んで、12月の写真展に出品した中の1枚です。

水 悠香

平成17年人間文化学部
文化コミュニケーション学科卒業

大学卒業後、ジャパンフラワーコーポレーションという花屋さん勤務し、ストアチーフを経て、2年前より富山県内6店舗のエリアマネージャーを務めています。また、今年4月からは社内研修の講師を目指して勉強中です。就職活動に際しては、旧キャリアサポートセンターにおられた藤塚さんに大変お世話になりました。今も年に一度食事に出掛けたり、近況報告をさせていただいたりしています。

大学で最も印象に残っているのは、準硬式野球部のマネージャーを4年間したこと。野球が好きになりましたし、目標に向かって楽しみながら努力し、成果を出すことの大切さを学びました。そうした部活での経験や、出会った方々には今でも本当に感謝しています。



会社の同期の結婚パーティの写真です。幸せなことには必ず参加してお祝いする、素敵な仲間たちです。

News!

リレーのバトンを 中村会長に戻します!

Cheer16号以来、11年間にわたって連載してきたリレーエッセイですが、リレーという性格上卒業期が片寄ってしまい、久しく昭和世代の卒業生が登場していません。そこで一度バトンを前中村正孝会長に戻し、さまざまな年代・学部の方にバトンが渡るよう配慮していきたいと考えています。新たなスタートを切るリレーエッセイにご期待ください。



京都学園大学 同窓会40年の歩み



昭和48年4月、195名の第1期生によって京都学園大学同窓会がスタートした。以来、歴史を重ねること40年、母校の発展にともなって同窓生の数も着実に増え、約2万7000名となった。

その間、平成16年発足の滋賀県支部を筆頭に、これまでに8つの支部が結成され、その活動エリアは大きく広がりがつつある。

40周年という節目は、同窓生同士の絆をさらに強め、次なる50周年への第一歩を力強く踏み出す大きなステップでもある。

京都学園大学同窓会年表

昭和44年4月1日	京都学園大学開学 初代学長に大畑文七就任
昭和44年4月1日	経済学部開設
昭和44年11月7日	第1回学園祭
昭和47年12月7日	同窓会設立準備委員会発足
昭和48年3月25日	同窓会設立準備総会
昭和48年4月1日	京都学園大学同窓会設立 初代同窓会長に浅野真実就任
昭和48年10月1日	第2代学長に中谷實就任
昭和48年11月3日	第1回同窓会総会
昭和54年3月3日	同窓会から大学へ「洗心池藤棚」寄贈
昭和54年11月1日	大学創立10周年記念式典挙行
昭和56年10月1日	第3代学長に田杉競就任
昭和58年11月19日	同窓会設立10周年記念式典(京都ホテル)
昭和59年8月10日	同窓会報「Cheer!!」創刊号「発刊」
昭和60年8月10日	同窓会報「Cheer!!」創刊号「発刊」
昭和61年1月22日	学校法人京都学園事務所所在地を大学内に変更
昭和62年3月26日	第4代学長に水野武就任
平成元年3月23日	徳志館竣工
平成元年4月1日	法学部開設
平成元年11月1日	大学創立20周年記念式典挙行
平成2年3月9日	白雲ホール完成 ホール内同窓会室設置
平成2年3月26日	第5代学長に木内佳市就任
平成2年12月7日	同窓会から大学へ「噴水装置」式寄贈
平成3年4月1日	経営学部開設
平成4年4月1日	ビジネスサイエンス研究所(現・総合研究所)開設



同窓会報
「Cheer!! 創刊号」



同窓会設立10周年記念式典

会長挨拶

京都学園大学同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清福にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は当会の活動・運営に関しまして、何かとご指導、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

京都学園大学は1969年(昭和44年)に創設され、同窓会はその4年後の1973年(昭和48年)に設立、本年をもって40周年を迎えることになりました。

この節目の年を無事迎える事が出来たのも、同窓生である皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。

同窓会では40周年を記念し、龍尾祭期間中の10月27日(日)に記念行事を開催することといたしました。詳細は本誌および同窓会ホームページ等でご案内をさせていただいておりますが、当日は懐かしい先生方、友人、先輩、後輩とともに、青春時代を大いに語らいただければ幸いです。

さて、京都学園大学も卒業生・在学生を合わせると3万人を超える現状となりました。同窓会各支部も8支部となり、今後も充実させていかなければならないと強く感じております。

また、京都学園大学は2019年に創立50周年を迎えます。今回の京都太秦キャンパスの開設は「地域に生き、活かされる大学」を目的に掲げ、創立50周年に向けて策定されたグランドビジョンのひとつであり、着々と実行されつつあります。

京都太秦キャンパスでは「ビジネス・文化・生命(いのち)」を、京都亀岡キャンパスでは「生命(いのち)・健康・食農」をキーコンセプトにしたキャンパスづくりがなされるとお聞きしております。

今後、京都太秦キャンパスと京都亀岡キャンパスとのダブルキャンパス化により、それぞれの地域的な特性を生かした教育・研究活動が展開されてまいります。両キャンパスの一体的な発展を期待するものです。

同窓生の皆様におかれましては、京都学園大学の新たな京都太秦キャンパス構想へのご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

母校や同窓会が私達にとって、如何に大きな存在であるかを認識し、また、同窓会員が全国各地でより一層活躍されることにより、一段と母校の輝きが増し京都学園大学の更なる発展に繋がっていくことでしょう。

最後に、今後も変わらないご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



京都学園大学同窓会
会長 中村 正孝



同窓会設立40周年記念式典 開催のお知らせ

同窓会設立40周年を記念して、青春時代の懐かしい思い出がいっぱい詰まった亀岡キャンパスで、記念式典を開催します。この機会に、在学当時の友人や先輩、お世話になった先生方と久しぶりに再会し、思うぞんぶん旧交をあたためてください。
開催日時やタイムスケジュールなど詳しいことは、本誌の裏表紙をご覧ください。

- 平成5年10月16日
- 平成6年4月1日
- 平成7年4月1日
- 平成8年3月26日
- 平成8年3月28日
- 平成8年7月27日
- 平成9年4月1日
- 平成10年3月10日
- 平成11年2月10日
- 平成11年4月1日
- 平成11年5月15日
- 平成11年5月15日
- 平成13年6月1日
- 平成14年3月26日
- 平成14年4月1日
- 平成15年8月1日
- 平成15年11月2日
- 平成16年10月10日
- 平成17年10月16日
- 平成18年3月1日
- 平成18年4月1日
- 平成18年4月1日
- 平成18年4月1日
- 平成18年12月3日
- 平成19年1月24日
- 平成19年11月18日
- 平成20年4月5日
- 平成20年11月3日
- 平成21年6月7日
- 平成21年10月26日
- 平成21年11月1日
- 平成22年3月13日
- 平成22年4月1日
- 平成23年1月1日
- 平成23年9月10日
- 平成24年4月1日

同窓会設立20周年記念式典(京都ブリightonホテル)

大学院法学研究科開設

大学院経済学研究科・経営学研究科開設

第6代学長に傳田功就任

光風館竣工

三國山スポーツゾーン竣工

同窓会奨学金給付規程を実施

セミナーハウス龍尾会館竣工

悠心館竣工

人間文化学部開設

大学創立30周年記念式典挙行

同窓会から大学へ「時計塔」寄贈

心理教育相談室開設

第7代学長に海原徹就任

大学院人間文化研究科、経営学部事業構想学科開設

同窓会「HP」gakuen-dai.com開設

同窓会設立30周年記念式典(大学白雲ホール他)

同窓会 滋賀県支部発足

同窓会 九州支部発足

バイオ環境館竣工

バイオ環境学部設立

第8代学長に波多野進就任

同窓会 東海支部発足

新体育館竣工

同窓会 中国支部発足

京町家キャンパス「新柳居」開設

同窓会 北陸支部発足

大学創立40周年記念式典挙行

同窓会 四国支部発足

同窓会から大学へ「時計塔」寄贈

同窓会 バイオ環境学部支部発足

第9代学長に 内山隆夫 就任

第2代同窓会会長に堀越直機 就任

同窓会 関東支部発足

第3代同窓会会長に中村正孝 就任



同窓会設立30周年記念式典



同窓会設立20周年記念式典



同窓会報
「Cheer 25号」

設立

昭和47年、4回生になった第1期生の各ゼミ有志が、「同窓会設立準備委員会」を発足し、他大学の同窓会を参考に会則の作成や役員候補の選定などを実施。翌48年3月に同窓会設立準備総会を開催して正式にスタートした。当初は活動拠点となる同窓会室もなく、日曜日ごとに副会長のアパートに役員が集まって名簿台帳の作成などを行った。また事務局長との折衝により、大学側の窓口を学生課とすることが決定した。

活動状況

毎年の学園祭「龍尾祭」に合わせて定時総会を開催、平成13年からは同時にホームカミングデーを実施するようになった。昭和54年、初めて会員名簿を発行しその後順次改訂を進めてきた。昭和59年、会報誌「Cheer」を発行し今年で26号を数えている。平成9年、優秀な人材育成を目指し同窓会奨学金事業を開始した。平成16年、支部活動支援事業を開始し、滋賀県支部を皮切りに現在まで8支部が発足している。

母校支援事業

母校の発展に寄与することも同窓会活動の目的の一つであることから、昭和54年の大学創立10周年には洗心池畔の藤棚と大学ホール・図書館の建設資金の一部を寄贈。20周年には洗心池の噴水装置と白雲ホールの建設資金の一部を寄贈。また30周年には楠風館前の時計塔および大学30周年記念基金を、40周年には野球場に時計塔を寄贈した。このほか同窓会入試制度はじめ多方面にわたる支援事業を実施している。

今後の展望

会員数の増加にともない更なる組織強化のため、全国各地に同窓会支部を設置し、支部活動の活発化と組織の充実強化を進めていく。また、卒業生ネットワークを一段と強化し、特に人材面で母校の教育の質的向上に貢献できるように、新たな連携活動を展開していく。さらに在學生が卒業後スムーズに同窓会活動に参加できるように、県人会活動や卒業生経営者との交流なども実施。

総会・懇親会&研修会ともに工夫をこらし、ますます活発化する全国各地の支部活動！

早くも発足10周年を迎えた滋賀県支部をはじめ、それぞれの支部活動はますます活発化し、昨年も趣向をこらした支部総会が各地で開催されました。支部活動をさらに有意義なものにするため、未参加の同窓生の積極的な参加を期待しています。

四国支部 第4回総会 平成24年7/21(土)

鳴門の渦潮と阿波おどりを満喫し、支部総会に過去最高の24名が出席！

**阿波の国の二大名物に接し
内容の濃い研修会に大満足**

出席者氏名／宮川 雅敬、清水 浩子、岸本 達士、久保 清、久光 功三、上枝 史朗、小田 善一、植條 敬介、中 雅俊、内田 浩嗣、森野 貴之、島本 知佳、橋本 哲明、森 英彰（順不同、敬称略）

7月21日午後、徳島駅前のホテルクレメント徳島に集合した一行が、タクシーに分乗してまず目指したのが、鳴門市と淡路島を結ぶ大鳴門橋の補剛桁の空間に設けられた「渦の道」。海面からガラス張りの床までの高さは45mあり、少し腰がひけながらも、誰もが迫力満点の渦潮を満喫しました。

**久しぶりの再会に話題沸騰！
時間のたつのも忘れて歓談**

総会・懇親会には同窓会本部などからの参加者も含めて24名が出席、過去最高の人数になりました。冒頭、宮川雅敬支部長が「若い方をどんどん会へ誘って、支部の輪を広げていきたい」と力強く挨拶。続いて中村正孝同窓会長の挨拶の後、すべての議案を満場一致で承認し、懇親会に移りました。西藤二郎就業力育成センター長から、大学の現況などをお話いただいた後、乾杯。お互いの話題が尽きることなく、時間の経つのも忘れて盛り上がりました。



続いて向かったのが阿波おどりミュージアム。日本三大盆踊りの一つであり、四国三大祭りの一つでもある阿波おどりの歴史を学んだり、実際の踊りを見学するなど、とても内容の濃いものとなりました。



旧交を温め、情報交換の場となった懇親会



中国支部 第6回総会 平成24年9/8(土)

世界文化遺産「安芸の宮島」を舞台に、有意義な研修および会員交流の成果。

**ボランティアガイドの案内で
宮島の魅力をたっぷり堪能**

出席者氏名／木島 慎一、平林 順也、長見 隆、大森 政男、部谷 京子、宮尾 典明、石川 千尋、坂本 恭弘（順不同、敬称略）

今回は初めての会員研修として、NHKの大河ドラマ「平清盛」ゆかりの地であり、木島慎一副支部長の地元でもある、世界文化遺産・宮島の歴史散策を実施しました。

**会場内が一つに溶け合って
和気あいあいのうちに進行**

宮島口からフェリーで約10分の宮島に渡った一行は、ボランティアガイドさんの案内で約2時間、大鳥居、厳島神社、清盛神社、秀吉ゆかりの千畳閣などを見学しました。厳島神社では、ちょうど潮が満ちる時刻で、神社の伽藍が徐々に浸されていくところを見ることができました。その後、同窓生経営の店で、焼きたてのみみじ饅頭や焼き牡蠣に舌づみを打ち、総会会場となる宮島コーラルホテルに向かいました。

13名が参加した総会では、住吉眞一支部長が急な仕事で出席できなくなったため、馬場善和同窓会副会長が挨拶、木島副支部長が議事進行を担当し、すべての議案が全会一致で可決・承認されました。懇親会に移り、大学から参加された西藤二郎就業力育成センター長の挨拶に続き、参加者全員が改めて自己紹介し、平林順也副支部長による乾杯の発声で歓談に移りました。いづつか会場内は一つに溶け合い和気あいあいのうちに進行、再開を約束してお開きとなりました。



世界文化遺産、宮島の厳島神社を見学

関東支部 第2回総会

平成24年10/20(土)

**落語ありビンゴゲームありで大盛会！
お台場のバーベキュー広場で開催。**

**現役パーソンナリティの司会で
すべての議案を滞りなく承認**

第2回総会の会場は、東京臨海副都心で最も大きな公園・お台場の潮風公園内にあり、東京湾やレインボーブリッジの景色を見ながらバーベキューができる、いま話題のスポット。

出席者氏名／戸田 脩司、佐藤 慶一、瀬尾 香苗、高橋 渉、田中 宏尚、窪嶋 聡、若田部 賢、小田 茂、仲藤 哲郎、原田 保夫、渡辺 真二、本幸 拓真、三遊亭京楽（順不同、敬称略）

まず、戸田脩司支部長が開会の辞を兼ねて挨拶、続いて中村正孝同窓会長の挨拶で総会が始まりました。司会・議事進行は、卒業生でDJやラジオパーソナリティとして活躍中の本幸拓真さん。平成



卒業生で落語家の三遊亭京楽師匠

その後も、秋晴れのもとで懇親会は終始和やかに進み、知らず知らずのうちに時間が流れ、最後は全員でビンゴゲームを楽しみました。終宴にあたり、堀越直機顧問が閉会の挨拶に立ち、関東支部第2回総会・懇親会は盛会のうちに無事お開きとなりました。

23年度事業報告および収支決算、平成24年度事業計画案および収支予算案が一括提案され、いずれも満場一致で承認されました。秋晴れのもとで時間を忘れ和やかに広がる懇親会の輪

いよいよ待ちに待ったバーベキュー懇親会のスタートです。同窓生ばかりでなく、家族も参加して盛大に開催。バーベキューに舌つづみを打ち、アルコールもほどよくまわって宴もたけなわになった頃、卒業生で落語家の三遊亭京楽師匠に一席語っていただき、会場内は爆笑の渦に包まれました。

北陸支部 第5回総会

平成24年10/27(土)

**同窓会定時総会への参加を兼ねて、
龍尾祭でにぎわう母校で研修を実施。**

**懐かしのキャンパスを散策し
新旧の校舎や施設を見学**

北陸支部第5回総会は、初の試みとして、「第44回龍尾祭」で盛り上がる母校・京都学園大学での会員研修会を企画しました。



山野下義紀支部長が議事を進行

出席者氏名／山野下 義紀、笹山 正康、浦野 俊二、土村 望、戸田 脩司、佐藤 慶一（順不同、敬称略）



第40回同窓会定時総会の開催に日程を合わせ、10月27日、久しぶりに母校を訪れるまさに「ホームカミングデー」。しかし、残念ながら北陸支部からの参加者は、山野下義紀支部長以下4名の支部役員だけとなりました。

まず、龍尾祭で盛り上がる母校を散策し、懐かしの校舎や新しく建てられた校舎・施設、あるいは今は無い校舎跡など



効能豊かな温泉と創作料理を堪能

合宿などでお世話になった懐かしの宿で総会・懇親会
定時総会終了後、総会・懇親会会場となる湯ノ花温泉「里山の休日 京都・烟河（けぶりかわ）」へと移動しました。この宿は、かつて合宿などでお世話になった人もおられると思われる、「亀岡ハイツ」が名前と装いを変えて営業されているところで、ここでも学生時代に思いを馳せることができました。

すべての議事が承認された後、同じく同窓会定時総会に出席された、ここ「烟河」に宿を取られた関東支部の戸田脩司支部長、佐藤慶一副支部長も交えた懇親会へと移行。支部運営に関する問題点や今後の展望を話し合うなど、さまざまな情報交換で有意義なひと時を過ごしました。

九州支部 第8回総会

平成24年11/10(土)

**教授による「美味しい話」に興味津々。
野球部の戦況に一喜一憂のハプニングも。**

**次々と伝授される調理の極意
「ラーメンの話」は次回に！**

九州支部第8回総会・会員研修会は、11月10日午後2時から福岡市のTKPガーデンシティ博多で開催されました。総会で全議案が承認された後、深見治一（バイオ環境学部長）による「調理の科学（化学）」と題する文化学術講演会に移りました。

いま話題のアントシアニンの働き、お茶や塩にまつわる話から始まり、「肉じゃがの上手な作り方」「ステーキの美味しい焼き方」「生ハムの作り方」「美味しいチョコ」の作り方まで、温度管理の

大切さを軸に調理の極意を次々と伝授。最後に「美味しいラーメンの話は次回に」と締めくくられ、心残りのうちに講演会を終了しました。

**初めての参加者も交えて
終始和やかに楽しく歓談**

懇親会に先立って、内山隆夫学長から京都太秦キャンパスや大学の現況などを含めた挨拶がありました。その途中には、母校の硬式野球部が明治神宮野球大会に初出場し、三重中京大学と対戦している試合速報に一喜一憂するハプニングも！その後、小野里光弘キャリアサポートセンター長の挨拶に続いて乾杯、懇親会へと移りました。

今回、支部総会に初めて参加された方もあり、終始和やかな雰囲気ではずむうちに、あっという間に終了の時刻を迎えました。最後に参加者全員で大学歌を斉唱し、平嶋智晃支部長による閉会の挨拶でお開きとなりました。



第8回京都学園大学同窓会九州支部総会



バイオ環境学部長による文化学術講演会

東海支部 第8回総会

平成25年6/15(土)16(日)

**鵜飼の実演観賞や岐阜城を見学、
岐阜方面で1泊2日の総会を開催。**

**「うかいミュージアム」で研修
川端康成ゆかりの宿で総会**



鵜飼船で岐阜の郷土料理を堪能

第8回支部総会は去る6月15日、川端康成が3度わたつて宿泊したという長良川温泉ホテルパークにおいて、1泊2日の日程で開催されました。まず「長

良川うかいミュージアム」を訪問し、1300年の歴史を誇る鵜飼の記録・伝承・鵜の生態などを研修しました。

ホテルに戻り、小林滋弘支部長、同窓会の小島敏明常任理事の挨拶に続き、坂本文夫教育修



第8回京都学園大学同窓会東海支部総会

出席者氏名／小林 滋弘、猿見田 隆宏、中野 昌明、澤 秀夫、田中 秀和、袴田 淳、赤坂 直哉（順不同、敬称略）

学支援センター長から太秦キャンパスなど大学の今後の取り組み、および二ホンミツバチの習性や特徴・行動についてお話いただきました。続いて行われた総会では、すべての議案がいずれも満場一致で承認されました。

**船上で鵜飼の実演を観賞し
織田信長ゆかりの城を見学**

総会後は懇親会場を船上に移し、鵜飼の実演を観賞しながら岐阜の郷土料理に舌鼓を打ち、和やかに学生時代の思い出話がはずむなか、あっという間に終宴となりました。

翌日は、織田信長の居城として有名な岐阜城跡がある、金華山稲葉山を訪れました。好天に恵まれた真夏並みの暑さのなか、ロープウェイで山腹まで登り、そこから急な階段を上がること約15分、ようやく天守閣に着きました。ここからは岐阜市内はもとより名古屋や伊吹山、日本アルプスの山並みも一望でき、参加者の感動を呼びました。やがて別れの時、お互いに再会を誓い、名残を惜しみつつ散会しました。



岐阜城跡のある金華山視察



出席者氏名／馬場 善和、泷江 敦、鳥居 彦宏、吉仲 和夫、武村 薫、吉川 孝二、秋野 義典、福本 浩一、牧尾 勝昭、朝倉 芳典（順不同、敬称略）

滋賀県支部 第10回総会 平成25年 5/25 (土)

盛りだくさんのプログラムを用意し、支部設立10周年記念総会を開催！

支部役員改選を実施し 鳥居彦宏新支部長を選出

10回目の節目にあたる支部総会は、去る5月25日午後2時より、JR 栗東駅前のウイングプラザ研修室において、本部からの参加者も含め20名が出席し開催されました。

馬場善和支部長の挨拶、大学歌斉唱に続いて、事業・決算報告および事業計画案・予算案をいずれも全会一致で承認。さらに今回は支部役員改選も行い、新たに鳥居彦宏支部長が選出されました。その後、来賓としてお迎えした

岡本登太郎名誉教授にご挨拶を、西藤二郎名誉教授には講演をお願いし、総会の幕を閉じました。

ボウリングで快い汗を流し ゼミ仲間も参加して懇親会

講演後、ウイングプラザ4階の栗東ボウリング☆ジムにおいて、「支部設立10周年記念ボウリング大会」を開催。83歳の岡本先生も参加され、みんな学生気分に戻って心地よい汗を流しました。190点超のハイスコアあり、100点未満のロースコアありと腕前には差はありましたが、楽しさに差はなく和気あいあい。最後に2ゲームトータルの点数により、支部長から1〜3位賞とブリーフ賞が贈られました。

ひと汗かいた後は、居酒屋「味覚処かす」で懇親会を行いました。岡本先生が来られると知り、当時、同じゼミで机を並べた仲間が、鹿児島や香川からも駆けつけ会場は大盛り上がり！最後は来年の再開を願い、一本締めで散会となりました。



個人戦で盛り上がったボウリング大会

滋賀県支部設立10周年

開学当時の貴重な思い出や 大学の将来構想などを傾聴

平成16年、同窓会のトップを切っけて支部を発足して以来、早くも10回目の支部総会を迎えました。この記念総会に、来賓として岡本登太郎先生と西藤二郎先生をお招きしたところ、快くご出席いただきました。



岡本登太郎先生

岡本先生は、開学2年目の昭和45年から教員として勤務され、平成12年までの30年間、地方財政論や財政学などを担当されました。先生は第1回入学式の様子など、大切に保管されている大学設置に至る貴重な書類や手紙の一部を讀みながら、当時の思い出を懐かしく話されました。

今年3月までの39年間で、経済学部で交通経済論や地域交通論などを担当しておられた西藤先生には、「文科省の大学行政と本学の現状」と題する記念講演をしていただきました。行政の大学への関わりや、「学生満足度100%の大学」をめざす太秦・亀岡のダブルキヤンパス制など、興味深いお話をうかがいました。



西藤二郎先生

お話をうかがいました。

平成 25 年度

同窓会支部総会のお知らせ

同窓会支部総会と懇親会を下記の日程で開催します。また、会員研修も予定しています。懐かしい同窓生たちと楽しいひとときをお過ごしください。

	日程	場所
九州支部 第9回総会	9/21(土)・22(日)	大分県 湯布院 他
中国支部 第7回総会	9月予定	広島市内
関東支部 第3回総会	10/19(土)	東京都内
四国支部 第5回総会	10/26(土)・27(日) (龍尾祭期間中)	京都学園大学
北陸支部 第6回総会	11/9(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢

※同窓会理事の役職名は総会開催時のものです

バイオ環境学部支部 第4回総会

平成25年 3/16 (土)



37名の卒業生を中心に 在学生も交えて交歓

平成24年度第55回卒業式終了後、3月16日午後1時から、バイオ環境学部支部の第4回総会・懇親会が開催され、卒業生37名と教職員、それに同窓会からも5名が参加しました。

藤井康代准教授の司会で開会し、まず大石康正支部長が、続いて馬場善和同窓会副会長が挨拶。学部を代表して、深見治一郎支部長からも挨拶がありました。総会終了後懇親会が行われ、在学生が用意した料理などが振舞われました。

京都学園大学 京都市内に新キャンパス開設

平成27年度、京都市右京区の山ノ内浄水場跡地に「京都太秦キャンパス」が誕生する。約32,000㎡の土地に、現代ビジネス学部、人文学部、健康医療学部の3学部を設置し、「京都亀岡キャンパス」とのダブルキャンパス制でそれぞれの特色を活かした教学を展開する。京都学園大学の新たなステージに向けての概要や目的、新キャンパス開設にともなう組織変更などを第8期の卒業生でもある石原祐次大学事務局長に聞いた。



—まず、京都太秦キャンパス建設の概略を聞かせてください。

山ノ内浄水場跡地約58000㎡のうち、南側約32000㎡の土地を活用し、平成27年度からの運用をめざします。施設構想としては、御池通と葛野大路通の都市景観を形成するように、「交流ゾーン」「キャンパスゾーン」「ビオトープ」にゾーニングします。建物は分棟としてキャンパス内を通り抜ける動線を確保し、中央の広場は学生の憩いの空間とするとともに、地域住民にも利用可能なセンタープラザとして整備します。また、各所に広場を設け、地域に開かれた環境を整備する予定です。

—京都学園大学が浄水場跡地利用の事業者選ばれた理由は何か。

京都市では「にぎわい」をテーマとし、地下鉄利用客の増加や地域の活性化につながる



—亀岡と太秦のダブルキャンパスになるメリットは何か。

それが今回の計画の生命線です。太秦キャンパスは「ビジネス・文化・生命」(い



石原 祐次

京都学園大学事務局長

Profile 昭和55年経済学部経営学科卒業後、京都商業高校(現京都学園高校)勤務を経て、平成5年から京都学園大学に勤務。就職課長、総務課長、リエゾンセンター事務長、教務課長、入試課長を歴任した後、平成23年4月に大学事務局長に就任。

る施設の誘致を考えていました。それには文教施設が最適ということ、本学の事業計画案が採択されたわけです。在学生の40%が下宿生である亀岡と違って、京都市内の場合には多くの学生が地下鉄を利用するし、また、それによって活性化を願う地元の期待にも応えられますからね。

京都太秦キャンパス

コンセプト

「ビジネス・文化・生命(いのち)」を
中心とした教育の実践

現代ビジネス学部

- 経済学科
- 経営学科

人文学部

- 歴史文化学科

健康医療学部

- 言語聴覚学科
- 看護学科

(設置構想中)

京都亀岡キャンパス

コンセプト

「生命(いのち)・健康・食農」を
中心とした教育の実践

人文学部

- 心理学科

バイオ環境学部

- バイオサイエンス学科
- バイオ環境デザイン学科
- 食農環境学科

健康医療学部

- 健康スポーツ学科

(設置構想中)



のち)」を、亀岡キャンパスは「生命(いのち)・健康・食農」をキーコンセプトに、それぞれの地域的な特性を反映しつつ、一体となった教育研究活動を展開していきます。

もちろん、亀岡と太秦は別々の存在ではありません。たとえば、どちらのキャンパスのどの学部学科で学んだとしても、社会が求める実学中心の教育は共通です。人間力の育成をキーワードとするコミュニケーション力・協働力・適応力・行動力・課題発見力・論理的思考力の6つの基礎力の育成。あるいは知的財産やコンプライアンス、マーケティングといったビジネス教養教育などがそれですね。また、午前中は太秦で通常の授業を受け、午後は直行バスで亀岡に行つて体育の授業やクラブ活動に取り組む、といったことも日常的に行われます。

—ダブルキャンパス制にもなつて、学部学科はどのよう変わりますか。

社会的関心の高い言語聴覚学科と看護学科、それに健康スポーツ学科からなる健康医療学部を新設するのが最も大きな変更点ですね。また、従来の社会科学系を経済学科と経営学科からなる現代ビジネス学部にも再編。人間文化学部を心理学科と歴史文化学科からなる人文学部に再編。バイオ環境学部は、従来のバイオサイエンス学科・バイオ環境デザイン学科に加えて食農環境学科を新設します。

「ビジネス・文化・生命(いのち)」をコンセプトとする太秦キャンパスには、現代ビジネス学部と人文学部、それに健康医療学部

部の言語聴覚学科と看護学科を、「生命(いのち)・健康・食農」をコンセプトとする亀岡キャンパスには、バイオ環境学部と健康医療学部の健康スポーツ学科と人文学部の心理学科を置くことを構想しています。

—美学・実践を重んじる大学として、ほかに新しい動きはありますか。

来年度から本格的にスタートするプログラムとして、中国の南通大学および現地の日系企業と提携し、半年間にわたつて実施するグローバルインターンシッププログラム(GIP)があります。南通大学で語学研修した後、オムロンなどの上海に進出している日系企業で就業体験するもので、将

来的には海外14の提携大学のネットワークを活用し、世界各地へ広げていきたいと考えています。

もう一つは、今年度からスタートしたアドバンストインターンシッププログラム(AIP)です。せいぜい2週間程度の通常のインターンシップでは、単なる就業体験に終わっています。そこで京都市内の企業と提携し、事前事後研修も含めて半年間、実際に就業するという本格的なプログラムで、これによって気づき→自ら学ぶ力を養うことを期待しています。

—最後に京都学園大学OBとして、同窓生の皆さんに一言お願いします。

私は8期生で、37年前にはJR嵯峨野線で1時間以上かけて通学していました。しかし、今は複線電化に加え、阪急「桂」やJR「桂川」からも直行バスを運行していますので、京都市内から30分あまりで通学できるようになっています。大学施設もバイオ環境館や体育館をはじめとして美化が進み、こじんまりした食堂も、プレハブだったクラブ部室もすっかり生まれ変わっています。同窓生の皆さんにはいつ来ていただいても大歓迎。ぜひ今の大学の姿を見て、かつてのイメージを一変させてくださった



いですね。

大学 TOPICS

ピック

日々進化・発展を続ける京都学園大学では、今年も施設のリニューアルや新たな活動を展開するなど、さまざまな話題を提供しています。最近のトピックスの中から、今回は4つの話題を選んでご紹介します。

TOPIC 1 公式戦にも使用できる野球場にリニューアル 練習環境もさらに充実

リニューアルされた野球場は、すでに京滋大学野球リーグ公式戦などで使用されてきましたが、リーグ戦終了後に改めて完成披露式典が催されました。式典には父母の会会長、硬式野球部OB会長など関係者が出席し、華やかに完成を祝いました。

席上、硬式野球部主将は「充実した環境のもとで練習を重ね、来る全日本大学野球選手権での躍進を誓います」という旨の力強い宣誓を行いました。



電光掲示板

観覧席

TOPIC 2 バイオ環境デザイン学科のプロジェクトとして キャンパス内にヤギ牧場を開設

大学の入口近く、実習農場の手前の草地で5頭のヤギが放牧されています。これはバイオ環境デザイン学科農業生産学研究室のプロジェクトで、植生管理の基礎データを集めることを目的としており、牧畜を組み込んだ循環型農業のモデルの構築を最終的な目的としています。

現在、タイからの留学生4名を含む21名の学生が飼育にあたっており、春には子ヤギたちの分娩にも立ち合いました。「かめっこ」(亀岡の地元の子どものこと)ヤギの誕生で、学生たちが俄然張り切っているほか、すっかり地元の人たちの人気者にもなっています。



TOPIC 3 京都市内3カ所に巣箱を設置 さらに取り組み範囲が広がるニホンミツバチプロジェクト

前号で紹介した、バイオ環境学部の坂本文夫教授と中京区役所の連携による「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」は、さらに区内の3事業所(京都市立堀川高校・丸池藤井株式会社・宮井株式会社)と提携。学内で飼育していたニホンミツバチを、5月29日に各事業所の屋上に1群ずつ運びこみました。中京区役所の屋上には立派な花壇が出来上がり、4群のミツバチが飼育されているのに対し、今回の3事業所の屋上には花壇をつくるスペースがありません。周辺には街路樹やベランダのプランター植栽などはあるものの、ミツバチがうまく蜜源植物を探索し、定着するかどうか注意深く見守っているところです。

TOPIC 4 バイオ環境学部とのコラボで「京學堂」が蜂蜜入りの「花麹どらやき」を好評発売中!

キャンパス内で、経営学部の学生が主体的に経営するチャレンジショップ「京學堂」では、これまで和と洋をコラボしたスイーツなど、オリジナルな商品を開発・販売し好評を博してきましたが、今年1月には新感覚の「花麹どらやき」を発売しました。

バイオ環境学部が、地元の丹山酒造の協力を得て醸造している純米酒「大槻並」の酒粕から作った花麹と、同じく学内で飼育しているミツバチが集めた蜂蜜を配合した、従来にない風味満点のどらやきで、発売以来学生たちの人気を集めています。



退職者のお知らせ



経済学部
特別教授
西藤 二郎



経済学部
講師
齋藤 弘樹



経営学部
特別教授
岩崎 恭輔



経営学部
特別教授
大西 昭生



法学部
教授
立石 雅彦



法学部
特別教授
奥村 哲夫



法学部
特別教授
宮川 不可止



法学部
講師
カリスコス・アントニオス



人間文化学部
教授
山本 幹夫



人間文化学部
教授
吉村 亨



人間文化学部
嘱託講師
(学生相談室)
菊池 寿奈美



バイオ環境学部
教授
玉田 攻



教育修学支援
センター事務室
事務長
浦辻 博史



教育修学支援
センター事務室
事務長
福井 大介



学生相談室
秦 幸江



入学センター
事務室
田中 一郎

2014年度入試概要

2014年4月入学の経済・経営・法・人間文化学部(心理学除く)は、2015年4月から開設構想中の京都太秦キャンパスにて学ぶ予定です。

母校の入試にお力添えをお願いします。

お子様はもちろん、ご親戚、お知り合いの方々にも、受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。大学案内および入学願書は無料で送付致しますので、ご希望の方は本学入学センターまでご連絡ください。**お手元に願書がなくてもインターネット出願も可能(手数料不要)です。**

京都学園大学入学センター 電話：0771(29)2222(直通)

TOPIC 1 同窓会優遇制度

入学手続金を返還します。

入学者の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都学園大学あるいは京都文化短期大学を卒業した方、または京都学園大学に在学中の方は、入学後申請により、入学手続時に納付された一次手続金(入学金26万円予定)相当額を返還いたします。

※同窓会優遇制度は、すべての入試日程に適用します。

TOPIC 2 初年度納付金額を軽減

経済・経営・法・人間文化学部の初年度納付金を軽減しました。

初年度納付金(2013年度参考)
入学金+授業料+施設設備費≒104万4000円

TOPIC 3 成績優秀者給付奨学金採用枠を拡大

成績優秀者には奨学金を給付

次の入試区分において、成績優秀者に適用します。

◆ 指定校推薦入試

◆ 21世紀スポーツリーダー入試

◆ 文化・芸術リーダー入試

◆ 一般入試全日程

◆ センター利用入試全日程

授業料の25%を最大4年間給付

入学金・授業料の50%または100%を最大4年間給付

授業料の50%を最大4年間給付

TOPIC 4

一般入試A日程を「スタンダード3科目型」に変更
一般入試A日程に「高得点科目重視3科目型」を新設
年内(12月26日)の出願が可能です

対象学部

◆ スタンダード3科目型

〔全学部〕

◆ 高得点科目重視3科目型(追加併願)「経済・経営・法・人間文化」
※スタンダード3科目型で受験した科目のうち、高得点科目を2倍(200点)換算

TOPIC 5

センター利用入試
センター利用入試が3月も出願可能です。

センター入試を利用して受験する場合、検定料は1学科(専攻)につき5000円です。

TOPIC 6

全国13都市に試験会場を設定
より受験しやすくなります。

本学のほか、東京、浜松、名古屋、金沢、大津、草津、大阪、岡山、広島、高松、福岡、那覇で受験できます。

TOPIC 7

学科(専攻)間同日併願制度
学科(専攻)間での併願が可能です。

一般入試B日程・C日程では、「社会科学系学部(経済/経営/法)」で最大3学部まで、「人間文化学部(心理学科/メディア社会科学科/歴史民俗学専攻/日本語日本文化専攻/国際ヒューマン・コミュニケーション学科)」で最大3学科(専攻)まで併願できます。併願しても入学検定料の追加はありません。

TOPIC 8

志望順位受験制度
バイオ環境学部は第2志望受験ができます。

バイオ環境学部では公募推薦入試および一般入試において第2志望受験ができます。第1志望学科が不合格で合計点が第2志望学科の合格最低点を上回る場合、第2志望学科となります。入学検定料の追加は必要ありません。

※詳しくは入学試験要項で必ずご確認ください。

■ 入学検定料の減額制度

複数日受験者等のほか、オープンキャンパス参加特典による入学検定料を減額します。

一般入試A日程の2日以上受験や一般入試C日程とCS日程の連続受験では入学検定料を減額します。

一般入試C日程とCS日程の連続受験は二日受験に該当します。

受験日数	検定料	1日あたり
1日	35,000円	—
2日	50,000円	25,000円
3日	60,000円	20,000円

■ オープンキャンパス参加特典

入学検定料減額制度

2012・2013年度開催のオープンキャンパスに参加された方への特典として、入学検定料の減額制度があります。対象となる入試区分は右記のとおりです。

対象者(2012・2013年度開催のオープンキャンパス参加者)

● 2013年度オープンキャンパス実施日

3/24(日)、5/26(日)、6/16(日)、7/14(日)、8/3(土)、8/4(日)、8/25(日)、9/15(日)、10/6(日)、11/3(日)、沖縄会場 7/28(日)

● オープンキャンパスに参加された際に記入いただく、「参加票」によって参加を確認いたします。

入試区分	入試日程等	正規検定料	減額	減額後検定料	
AO入試					
21世紀スポーツリーダー入試	全日程	35,000円	-15,000円	20,000円	
文化・芸術リーダー入試					
指定校推薦入試					
公募推薦入試					
一般入試	A・B・C・CS日程*	一日受験			
	A日程*	二日受験	50,000円	-20,000円	30,000円
		三日受験	60,000円		40,000円

* 一般入試C日程とCS日程の連続受験は二日受験に該当します。

クラブ活動レポート

club report

世界および全日本選手権大会への出場相次ぐ！ ますます戦績・実績を高めるクラブ活動

京都学園大学で活動しているクラブ・同好会・サークル数は、現在、体育系29団体・文化系14団体の計43団体にのびます。なかでも強化指定クラブを主とする体育系の活躍はめざましいものがあり、全国大会へ、さらには世界大会への出場権を得るクラブが続出しています。



クラブ・同好会・サークル一覧

文化連合協議会

アコースティック部 (アンブラグド)	能楽部
映画部	美術部
演劇部 (劇団 BLUE)	ボランティア研究会
軽音楽部	漫画研究会
茶道部	
GBS 放送局	
写真部	
ジャズオーケストラ部	
新聞部	
吹奏楽部	

体育連合協議会

アーチェリー部	柔道部	バドミントン部
アメリカンフットボール部	準硬式野球部	パワーリフティング部
空手道部	少林寺拳法部	ラグビー部
弓道部	女子バスケットボール部	陸上競技部
クレール射撃部	ソフトテニス部	レクリエーション研究会
剣道部	ソフトボール部	バレーボール部 (準部)
硬式庭球部	卓球部	ELF CLUB (サッカー同好会)
硬式野球部	男子バスケットボール部	クリケットクラブ
ゴルフ部	ダンス部 (HAPPY ☆ターン)	はねんちゅ (バドミントン同好会)
サッカー部	二輪部	

● **パワーリフティング部**
ロシアのスーズダリ市で6月10日から16日に開催された「第1回世界男子・女子クラシックパワーリフティング選手権大会」のジュニア女子63kg級において、寺原万留々選手(経営2年)が総合優勝、寺石知央選手(人間文化2年)が総合4位に輝きました。



パワーリフティング部 寺原万留々選手



寺原万留々選手、寺石知央選手

男子5名・女子4名の部員を擁するパワーリフティング部は、昨年も女子選手がスウェーデンのストックホルム大会に出場しており、今回も大いなる活躍が期待されています。

● **硬式野球部**

去る5月22日、わかさスタジアム京都で行われた佛教大学戦の9回裏、二死二塁の場面で主将の榎本直樹選手がレフトへ劇的なサヨナラヒットを放



第62回全日本大学野球選手権記念大会に出場！

ち、6-5で勝ちを収めて京滋大学野球春季リーグ優勝を決め、6月11日開幕の全日本大学野球選手権大会への出場権を獲得しました。



硬式野球部 榎本直樹主将

6月12日、東京ドームにおいて北東北地区代表の富士大学と対戦、息詰まる投手戦を繰り上げましたが、相手投手を打ち込むことができず0-2で惜敗、昨年に続いて今年も1回戦で敗退する無念の結果となりました。

● **準硬式野球部**

去る5月13日から16日にかけて、関西チャmpionsの座をかけて争う第65回関西地区大学準硬式野球大会が開催されました。準決勝で惜しくも関西大学に敗れたものの、最終日に行われた大阪教育大学との3位決定戦に5-3で勝利し、全日本大学準硬式野球選手権大会出場の切符を手に入れました。



準硬式野球部 片山康宏主将



8月から全日本選手権大会がスタート

アーチェリー部

関西リーグ1部昇格とインカレ出場を目指し、試合形式の練習などで技と精神力を磨きます。

今春の関西学生アーチェリーリーグの戦績は、男子が2部リーグBブロックの2位、女子がエキストラマッチAブロック2位でした。当面の目標は、来年度の関西学生アーチェリーリーグ戦での1部昇格と、個人でのインカレ出場を果たすことです。そのため、試合形式の練習を取り入れるなどして試合慣れし、どのようなコンディションのもとでも安定した成績を収められるよう、工夫をこらした練習に励みたいと思っています。先輩の皆様には、ぜひOB・OG会を創設していただき、いろいろな面での応援をよろしくお願いします。



剣道部

日本武道館の全日本学生選手権大会に出場！
ハイレベルな場での経験を今後に活かします。

週4回の限られた時間を有効に活用し、全員が高い意識を持って練習に励んできた甲斐があつて、日本武道館で開催された第60回全日本学生剣道選手権大会に出場することができました。あこがれの日本武道館での試合に出場し、またハイレベルな試合を数多く見ることで、多くのことを学ぶことができました。現在、在籍する部員が12名と少ないのが悩みですが、部活動をさらに盛り上げて部員数の増加に努めたいと思っています。今後とも試合で良い結果が出せるよう、そして再び全国大会に出場できるように頑張ります。



能楽部

合宿などを通じて、能楽の練習だけでなく日本の伝統文化についても学んでいます。

留学生が多く在籍している能楽部は、仕舞や謡を学ぶだけでなく、日本の伝統文化全般に深い興味を持っています。そこで昨年夏、高野山の宿坊で合宿を行い、能楽の練習に集中して取り組むとともに、能につながるさまざまな伝統文化を学び、大きな成果をあげることができました。今までは年2回の発表会以外、学外活動はほとんどなかったのですが、今年5月25日のコンクールに参加。今後は他大学との交流も行っていく予定です。



ソフトボール部

試合を想定した練習を重ねて2部昇格を達成
戦力強化が実現し次の目標は全国大会出場！

2部昇格を目標とし、常に試合を意識してチームワーク良く日々の練習に励んだ結果、昨年の春季大会で遂にその目標を達成することができました。さらに今年は、ピッチャーとして実力も実績もある1年生が入部し、課題であった投手力が大きくアップしたことから、思い切った全国大会出場を目標に掲げました。持ち前の強みであるバッティングをもっと強化し、大きな目標にチャレンジしますので、これまで以上の応援をお願いします。



連続講演会 卒業生に学ぶ 事業の発展・承継

京都学園大学経営学部の実業構想学科開設10周年と事業承継コースの新設を記念し、開学以来初の企画として、同窓会と経営学部学会が共同で「卒業生に学ぶ事業の発展・承継」と題した連続講演会を開催しました。

第1回目は昨年11月2日、システム開発に関するトータルソリューションを提供するIT関連企業・株式会社ゼネックの美馬芳彦さん(昭和54年卒)が担当。「大学で学んだ専門知識を実経営に活かすには何が必要か」をテーマに、IT関連の最新線を行っていました。「人を大切にすることを」をモットーにクライアントと真摯に向き合い、丁寧な仕事を心がけている美馬社長



株式会社ゼネック 代表取締役兼 CEO
美馬 芳彦氏



有限会社宮尾産業 取締役
宮尾 典明氏

の言葉は、学生のやる気をかきたてたようです。

第2回は11月19日、170年の伝統を受け継ぐ「熊野筆」のメーカー・有限会社宮尾産業の宮尾典明さん(昭和62年卒)が担当。化粧筆を手にしたお客様から伝わってくる満足感や喜びの声。それこそが、常に良い商品づくりをモットーとする宮尾さんの、何よりのやりがいにつながっているそうです。途中、海外展開やブランド戦略などについて学生にアイデアを求め、一方通行ではなく、学生たちにも考えさせる講義となりました。

第3回は11月27日、コスメティック・ジャパン有限会社社長の会長で、同窓会関東支部長でもある戸田脩司さん(昭和49年卒)が担当。39歳で起業して以来の経営者体験をもとに、まず学生たちに「君たちにとってビジネスとはどんなことか」という問いかけからスタート。いろいろな答えを引き出した後、各自



Cosmetic・Japan 有限会社 会長
戸田 脩司氏

身は「自分を格好良くトレーニングすること」と定義。最後に、「ビジネスのエネルギーとなるのは読書、新聞、本物の芸術文化にふれること」と締めくくられました。

最終回は12月6日、新感覚の写真館・株式会社イシダスタジオの石田直之さん(平成6年卒)が担当。従来の記念写真から脱皮し、「ストーリー仕立ての写真」「大人に焦点を合わせた写真」など、全く新しい視点で成功。「楽しい＝成長する」というメッセージから、学生は無限の可能性にチャレンジし、成長する自らの姿を描いたようです。

こうして4回にわたる連続講演会は、経営学部の学生たちにさまざまな影響や教訓を与え、大成功のうちに終了しました。



株式会社イシダスタジオ 代表取締役
石田 直之氏

創部40周年のアメリカンフットボール部 すべての世代70名が一堂に会して乾杯！

昭和48年創部、翌年に関西学生リーグ参加という長い歴史を持つ「DEAR DEVILS」(愛称)。その40年の区切りを祝う会が去る2月24日、京都タワーホテルで開催されました。

この日、会場に集まったのは、クラブを創立したオリジナルメンバーから現役の1年生、それに女性マネージャー OG も含めて総勢約70名。クラブ顧問歴25年、「日本一アメフトが好きなお顧問」を自認する竹熊耕一教授の挨拶に始まり、草創期の勇者OBによる乾杯の音頭で開宴しました。長年にわたり組織を支えて



きた世話役をはじめ、歴代の監督・コーチ、審判員などに感謝状を贈った後、現役選手が熱く決意表明。悲願の2部昇格が50周年までに達成されることを祈りつつ、参加者のほとんどが二次会会場へと移動しました。



第40回同窓会定時総会概要報告

第40回同窓会定時総会が下記の内容で実施されましたので、ご報告申し上げます。

- [日時] 平成 24 年 10 月 27 日 (土)
- [場所] 京都学園大学 光風館 K22 教室
- [議事] 第 1 号議案 役員を選任について
- 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告について
- 第 3 号議案 平成 23 年度決算・監査報告について
- 第 4 号議案 平成 24 年度事業計画(案)について
- 第 5 号議案 平成 24 年度予算(案)について

● 新任役員

常任理事	當津 有香	(2009E)
理事	上條 貢	(1976E)
	鳥居 彦宏	(1978E)
	大槻 輝久	(2009B)
	下津佐 育代	(2009B)

平成24年度 事業報告

1. 役員の変更および選任
2. 定時総会、理事会等の開催
3. ホームカミングデーの開催（平成24年10月26日～28日）
 - 同窓会専用テントでの情報交換 参加人数／280名
 - ミニパーティの開催 参加人数／約50名
4. 同窓会奨学金の給付
5. 会報誌「Cheer」25号の発行
6. 会員名簿管理

会員総数 26,947名 ※平成24年度末現在
7. 支部活動支援
8. 経営学部事業構想学科開設10周年・事業承継コース新設記念卒業生連続講演会「卒業生に学ぶ事業の発展・承継」への協力（講師派遣）
9. 在学生支援事業

学友会懇談会の開催、優秀クラブ表彰、卒業記念品の贈呈、龍尾祭・卒業記念パーティへの助成、大学新聞「Wake Up!」の発行支援（年間10回発行）、他

会議

- ◆第40回定時総会／平成24年10月27日
- ◆理事会／平成24年5月19日・10月27日
- ◆常任理事会／平成24年4月14日・6月23日・10月6日
平成25年1月12日・3月2日
- ◆支部長会議／平成24年5月19日

平成24年度京都学園大学同窓会 予算・決算書

（一般会計）

収入の部		(単位 円)	
科目	予算額	決算額	
前年度繰越金	1,414,451	1,414,451	
会費	16,250,000	16,525,000	
雑収入	10,000	32,759	
一般積立金より繰入	1,000,000	1,000,000	
収入の部合計	18,674,451	18,972,210	
支出の部			
科目	予算額	決算額	
事務費	820,000	345,544	
人件費	120,000	10,000	
事務補助費	700,000	335,544	
会議費	2,000,000	2,206,819	
会議費	1,200,000	1,063,339	
交通費	800,000	1,143,480	
事業費	13,600,000	13,823,445	
会報発行費	4,500,000	4,513,415	
名簿管理費	100,000	8,582	
ホームページ費	100,000	35,070	
総会費	300,000	205,700	
40周年記念事業費	300,000	420,000	
助成費	4,000,000	5,501,600	
支部運営費	3,000,000	2,502,017	
奨学費	1,200,000	600,000	
慶弔費	100,000	37,061	
積立金	0	0	
一般積立金	0	0	
事業積立金	0	0	
予備費	2,254,451	0	
翌年度繰越金	0	2,596,402	
支出の部合計	18,674,451	18,972,210	

同窓会ホームページのご紹介

京都学園大学同窓会ホームページアドレス

<http://www.gakuendai.com>

同窓会に関する最新情報から、母校・京都学園大学、京都・亀岡などの地域情報まで、幅広い情報を発信していきます。また、龍尾祭情報（ホームカミングデー、音楽ゲスト、イベント内容など）についても詳しくお知らせします。記事に対するコメント欄は同窓生の交流の場にもなるので、ぜひ気軽に書き込んでください。みんなで盛り上げながら、情報満載で楽しいホームページを作り上げていきましょう！



平成24年度京都学園大学同窓会奨学金

京都学園大学の名声を高め、他の学生の模範となる優秀な在学生を対象とし、人材育成に資することを目的として設置された「京都学園大学同窓会奨学金」。

平成24年度は書類審査・面接を経て5名が採用され、中村会長より奨学金（1名につき年額12万円）と記念品が授与されました。



同窓生の結婚報告を募集!

卒業生同士のご結婚や、ご夫婦のどちらかが卒業生というカップルを誌面でご紹介します。掲載希望の方は、おふたりの氏名・卒業年・学部学科・結婚記念日または入籍日を、ハガキ・FAX・メールのいずれかでお知らせください。

掲載写真は一組につき1枚とさせていただきます。メールにて画像データを送信いただく際は、ファイル形式をjpegでお願いします。プリントをご送付いただく場合、返却までに多少時間がかかることをあらかじめご了承ください。

※写真・結婚式.jpg ファイル名は左記の通りをお願いします。

※メールの際は必ず件名を入力願います。（無件名のメールは削除されてしまいます。）

申込先 京都学園大学同窓会事務局

〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1

FAX 0771-29-2389 / E-mail dousoukai@gakuendai.com

卒業生から嬉しい近況報告が届きました。Happy Wedding!



結婚記念日 平成24年5月26日

鎌田 英明さん & 文乃さん

新郎の英明さんは、平成8年経済学部経済学科卒業。学生時代は混声合唱団ベル・カントに所属し、平成6年度には学友会中央委員会議長を務められました。おふたりとも、熱狂的な中日ファンだそうです。



結婚記念日 平成24年9月29日

竹内 博士さん & 七恵さん

新郎の博士さんは、平成15年人間文化学部文化コミュニケーション学科を卒業。在学中は京都学園大学放送局「GBS」を設立したり、文化連合協議会幹事を務めるなど、学内活性化に向けた活動に尽力されました。



結婚記念日 平成25年5月18日

寺澤 智久さん & 重美里さん

新郎の智久さんは、平成17年経済学部経済学科を卒業。弾き語りサークル・アンブラグドに所属し、学内外でライブ活動をされていました。音楽を通じてできた人と人との縁は、大きな財産になっているそうです。

本学学生への就職支援のお願い

長引く不景気のあおりを受け、大学生の就職内定率は依然低い水準のままとなっています。本学でも就職支援体制を整え学生たちを全力でサポートしていますが、卒業生の皆様からお力添えをいただくことで、将来の可能性はさらに広がります。

つきましては、皆様が在籍しておられる企業において新規採用計画がありましたら、ぜひともご一報ください。後輩たちのために、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター

TEL 0771-29-2260 FAX 0771-29-2289

E-mail career@kyotogakuen.ac.jp

最新のご住所・お電話番号をお知らせください

同窓会事務局では市町村合併などによる住所変更を随時行っていますが、毎回数百部の『Cheer』が所在不明で返送されています。郵便局によって異なりますが、旧住所表記では合併後2～3年で届けてもらえなくなるケースもあるようです。お手数をおかけしますが、ご結婚や転居などによるご住所・お電話番号の変更も含め、同窓会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

第45回

龍尾祭

イメージキャラクター
タツオ



平成25年10月25日(金)・26日(土)・27日(日)

第45回龍尾祭のテーマは「よせ鍋」です。このテーマには、私たち実行委員が「土鍋」、参加団体が「具」となり、龍尾祭という「よせ鍋」を来場者の皆さまにつついでいただけたら良いな、という意味が込められています。ほかの大学では味わえない「龍尾祭独特の味」を、ぜひご賞味ください。

毎年恒例の3大イベント(音楽祭・爆笑祭・講演会)のほか、学生が主体となって行うさまざまなステージイベントや室内展示イベント、地域住民参加のフリーマーケットや野菜市など、見どころ満載です。フィナーレでは、火舞、ダンス、京都で唯一の特殊効果(レーザーショー)を行ないますので、思い出に残ること間違いなしです!

ぜひ、この機会に京都学園大学へ遊びにいらしてください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

フリー
マーケット
出店募集!

第45回龍尾祭開催期間中の10月26日(土)・27日(日)にフリーマーケットを開催します。この機会に母校の学園祭に出店してみませんか?詳細は龍尾祭実行委員会のホームページをご覧ください。



龍尾祭ホームページを随時更新中!

音楽祭のゲストや各イベントの詳細など、最新の情報を随時更新します。

<http://ryubi31.jimdo.com>

[twitter](#) ツイッターアカウント ▶ [ryuubisai](#)

お問合せ先 TEL・FAX 0771-29-2274



第45回
龍尾祭実行委員会
委員長
古部 見規

平成25年度ホームカミングデー 第41回同窓会定時総会開催のお知らせ

今年も龍尾祭開催期間中にホームカミングデーを開催します。同窓生の皆さまには500円相当の金券を配布させていただきますので、同封の宛名台紙を必ずお持ちください。

平成25年度 ホームカミングデー

日時 平成25年10/25(金)～27(日) 9:30～

場所 京都学園大学 光風館前テント

第41回 同窓会定時総会

日時 平成25年10/26(土) 14:30～

場所 京都学園大学

同窓会設立40周年記念式典

平成25年10月27日(日)

龍尾祭期間中に、同窓会設立40周年記念式典を開催します。記念パーティでは、なつかしの大学食堂で昼食やイベントをお楽しみいただけます。ご家族、ご友人でお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

京都学園大学 同窓会設立40周年

reStart and ハッシュ 4 播種

新タナ^{カビタネ}出芽 友が為ニ種ヲ播コウ

- 会場 京都学園大学
- 参加資格 同窓生とご家族(配偶者・子ども)
- 会費 3,000円/人(高校生以下は無料)
- 申込期日 9月30日必着

※同封のハガキにてお申込みください。

- スケジュール
- 10:30～ 記念式典(悠心館)
会長挨拶、来賓挨拶
- 11:30～ 記念パーティ(白雲ホール1F食堂)
乾杯、歓談、イベント等
- 14:30～ 記念講演会(悠心館)

※詳細につきましては同窓会ホームページで随時お知らせします。

思い出の場所・
懐かしい人を調査します!

亀岡に住んでいた頃によく通ったお店、お世話になった人、学生時代に過ごした下宿の「今」が気になりますか?同窓会で調査しますので、お電話・FAX・メールにて下記の連絡先までお気軽にご相談ください。



編集後記

昭和48年4月、京都学園大学同窓会が第1期生のご尽力により産声をあげてから、はや40年が経ちました。取材・制作を通じ、その積み重ねられた歴史を改めて感じながら同窓会報 Cheer を制作しました。

新たに京都太秦キャンパスの開設が構想され、平成27年よりWキャンパス制となる母校の今、そして約27,000名となった卒業生の今をお伝えしております。

制作上の都合により、最新情報がお伝えできないこともございますが、同窓会ホームページにてお伝えします。

本年、同窓会は設立40周年を迎えました。龍尾祭期間中の母校において、記念式典を開催いたします。役員一同、皆さまの『おかえり』をお待ちしております。今後とも、本会の活動にご理解ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

(広報委員会)

同窓会への
お便り・情報を
募集

皆様の近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局までお寄せください。

京都学園大学同窓会事務局 TEL 0771-29-2374(直) FAX 0771-29-2389
E-mail dousoukai@gakuendai.com

京都学園大学同窓会

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL 0771-22-2001(代)
<http://www.gakuendai.com/>